

開催報告：BiWO2007

2007年12月17日～21日の1週間、Bioinformatics Week in Odaiba (BiWO) として、2007年日本バイオインフォマティクス学会年会 (JSBi2007)、2007年度生命情報工学研究センター研究報告シンポジウム (CBRC2007)、情報処理学会 MPS/BIO 合同研究会 (SIG MPS/BIO, IPSJ) を連続開催いたしました。JSBi2007 には約 300 名、CBRC2007 には 200 名近くの来場者を迎え、SIG MPS/BIO, IPSJ では 90 部準備された資料が完売となりました。盛況の一週間でした。

JSBi2007 2007年日本バイオインフォマティクス学会年会

2007年12月17日(月)～19日(水) 日本科学未来館7階 みらいCANホール

CBRC 招聘研究員である後藤修教授(京都大学)が JSBi 会員の最も優れたポスターに授与される「JSBi2007 Oxford Journals - Japanese Society for Bioinformatics Prize」を受賞されました。



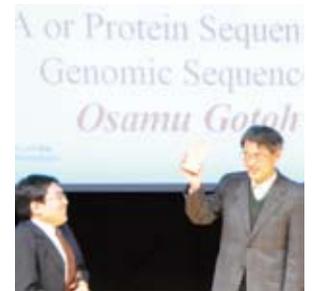
金久 貴 教授
(京都大学)



塩見 美喜子 准教授
(徳島大学)



Prof. Eric Westhof
(Université Louis Pasteur)



表彰式の様子

CBRC2007 2007年度生命情報工学研究センター研究報告シンポジウム

2007年12月19日(水)～20日(木) 産総研臨海副都心センター別館11階



Prof. Charles Lawrence



Dr. Leonardo Mariño-Ramírez

JSBi2007、CBRC2007 共催 基調講演

Prof. Charles Lawrence (Brown University)

"Abuse of the Mode in Genomics and an Ensemble Alternative: Forgotten Role of Entropy"

招待講演

Dr. Leonardo Mariño-Ramírez (NCBI, NLM, NIH)

"Evolutionary trends of transcriptional regulation in core histone genes"

Michael Gromiha (分子機能計算チーム)

"Computational analysis of β -barrel membrane protein sequences and structures: Genome wide applications"

福田 賢一郎 (生体ネットワークチーム)

"Pathway database - Ontologies and emerging standards"



ポール ホートン
CBRC2007 実行委員長



Michael Gromiha



福田 賢一郎



加藤 晃一 教授



森下 真一 教授

招待講演

加藤 晃一 教授 (名古屋市立大学)

"翻訳後に多様化するタンパク質への構造生物学的アプローチ"

招待講演

森下 真一 教授 (東京大学)

"脊椎動物のゲノム進化"

油谷 幸代 (生体ネットワークチーム)

"グラフィカル連鎖モデルによる肝臓癌進行過程における遺伝子ネットワークの推定"

塚本 弘毅 (分子機能計算チーム)

"構造情報を用いたタンパク質相互作用解析～タンパク質間ネットワーク予測と機能推定をめざして～"

広川 貴次 (創薬分子設計チーム長)

"ホモロジーモデリングと分子動力学計算を活用したドラッグデザイン"



油谷 幸代



塚本 弘毅



広川 貴次

19

20

SIG MPS/BIO, IPSJ 情報処理学会 MPS/BIO 合同研究会

2007年12月20日(木)～21日(金) 産総研臨海副都心センター別館8階、11階

CBRC2007、SIG MPS/BIO, IPSJ 合同懇親会

